

「奈良県立医科大学附属病院で導入された血液透析患者と腹膜透析患者の予後調査」 に関するお願い

・研究の概要

慢性透析患者の全人口に占める割合は年々増加傾向といわれております。透析療法には血液透析と腹膜透析とがあり、それぞれの生命予後の比較が海外で行われていますが、一定した見解は得られておらず、また、わが国ではその比較が行われた研究は発表されておられません。当院で導入された血液透析患者と腹膜透析患者の予後調査を行い、生命予後のより優れた治療法がどちらであるかを検討します。

・研究対象者

2007年1月1日から2023年3月31日に奈良県立医科大学附属病院で血液透析または腹膜透析が開始され、以下の医療施設で維持透析を受けている15歳以上の患者です。研究期間は2028年3月31日までです。

奈良県立医科大学附属病院、翠悠会、友愛会、康成会、吉江医院、国保中央病院、近藤クリニック、西の京病院、済生会御所病院、済生会中和病院、田畑医院、南和病院、友紘会病院、田北病院、宇陀市立病院、中辻医院、大和高田市立病院、町立大淀病院。

・研究の意義

血液透析患者と腹膜透析患者の生命予後の比較を行います。

透析患者では心血管疾患および脳血管疾患の合併が高率であるといわれており、血液透析患者と腹膜透析患者での合併率の比較を行います。

透析導入時の各種検査データおよび身体所見がその後の予後および合併症の発症に影響があったかを検討します。

透析経過中の透析量や各種検査データ、および全身管理が予後および合併症の発症に影響があったかを検討します。

・今回の研究での費用

今回の研究では、以前に行われた診療についてカルテを調べることで検討しますので、費用はかかりません。また、研究のために特別に行われる検査や治療薬はありません。

・プライバシーについて

今回、研究対象者のプライバシーに関することは、第三者に漏れないように十分配慮されています。

この臨床研究での検討結果を学術雑誌や学会で発表させていただくこともありますが、あなたの個人情報公開されることはありません。今回、カルテを調べる研究なので、対象患者から同意書をもらっていませんが、この研究について質問があったり、参加されたくない患者さんはいつでも下記連絡先にご連絡ください。参加されない場合でもあなたが不利益を受けることは一切ありません。

・研究機関の名称及び研究問い合わせ先の氏名

奈良県立医科大学腎臓内科

鮫島謙一

連絡先(電話番号) : 0744-22-3051 (内線 3441)